



ふるさとアドバイザー 故郷への思いを語る



森川 典子 さん

(昭和 33 年生まれ、東京都在住)

【主な経歴】

昭和 56 年 立命館大学卒業
平成 元年 アメリカで MBA (経営学修士) 取得
平成 21 年 ボッシュ株式会社 取締役副社長に就任

私は親の仕事の関係で東京生まれですが、2歳の時に当時の伊予三島に戻りました。父は三島の宮川、母は寒川の出身です。私は三島小学校卒業後に香川県の中学・高校へ進学したため、一番思い出深いのが三島小学校です。当時は、五つの誓い(?)の言葉があり、私はその中の最初と最後の言葉が好きで、今でも覚えています。

「いつもいきいき元気な子」「世界に伸びる日本の子」

今年還暦を迎えますが、この60年間を振り返ると、そのような子に近づけたかなと思ったりしています。確かに好奇心旺盛で元気、20代に海外へ留学し、その後外資系の会社で働いて、海外生活も合計すると10年以上になりました。

現在の会社の本社がドイツで、1年間の赴任後に帰国した2010年5月に、たまたま目にした映画の広告

が「書道ガールズ」でした。その舞台がふるさとであることにびっくりして、急いで見に行きました。ストーリーも感動的でしたが、懐かしい風景にホームシックになったのを覚えています。なじみのある町並み、今は静かになってしまった商店街や帰省の度に行く桃山公園、そしてそこから見える瀬戸内の海、「ああ私のふるさとじゃあ」としみじみと感じました。映画館で涙ぐんでいたのは、たぶん私くらいだったでしょう。

結婚して夫と帰省した時に改めて気付かされたのは、ふるさとの美しさでした。雨上がりに霞が四国山脈の谷間にかかっている姿は、まるで水墨画のようとか、冬の畑でミカンが実った木々に雪が降った景色を見て情緒的だとか、アメリカ人の夫の感じ方に新しい発見をしたようでした。

現在は母と妹夫婦が三島で暮らしています。地元で家族がいてくれるおかげで、ふるさととつながり続けることができます。介護が必要な母の面倒を、妹は本当によく見てくれています。介護中心の生活の中で、妹は自分のやりたいことを少しでもどうにかこうにか頑張ることでバランスをとっていると思います。感謝しきれないですが、私にとっては家族あってのふるさとであり、私のルーツです。

四国中央市ふるさとアドバイザー
石津ちひろ&高橋久美子ワークショップ

無料

要申込

「ことばで遊ぼう! ことばを作ろう!」



石津ちひろさん
(詩人・絵本作家)



高橋久美子さん
(作家・作詞家)

日 1/6 (日) 13:00 ~ 15:00

場 市役所市民交流棟 2階

内 いつも何げなく使っていることばで、私たちと一緒に遊んでみませんか? きっと、新しい自分が発見できるはず!

対 小学生以上

定 30名程度 (先着順)

持 筆記用具、ノート

募 11/30 (金) まで

申 問 政策推進課 28-6005



教育長職務代理者・篠原祥子さんが
文部科学大臣表彰を受賞



篠原祥子さん(三島金子)が、地方教育行政功労者文部科学大臣表彰を受賞しました。篠原さんは平成16年に本市の教育委員に就任し、14年余りにわたり、子育て指針の作成やいじめ防止対策、文化振興の推進など、本市の教育環境の充実にご尽力いただいています。

川の江高校の生徒が
大洲市で災害ボランティア活動



9月22日(土)、川の江高校の生徒22人が、平成30年7月豪雨災害で甚大な被害を受けた大洲市で災害ボランティア活動を行いました。生徒たちは、側溝にたまった泥をかき出す作業のほか、浸水した家屋内の土壁を、へらや工具を使ってはがす作業などを行いました。